

プログラム名 (40字以内)	地域探究プログラム ～地元高校生と能登半島地震からの復興政策を立案せよ～		
団体名/所属	UTVC 東京大学復興ボランティア会議		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動、 フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	6人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	探究学習の一環で能登の復興にかかわる政策立案に取り組む七尾高校の生徒と伴走しながら、高校生の成長支援に主体的に取り組むことを求めます。また、政策や事業をつくる上での基本的な知識の講義や、問題解決プロセスのワークショップ等の機会提供を運営側から行いますので、それらへの意欲的な参加も期待します。		
活動期間	東京:2026/8月上旬～、現地:8/16(日) ～8/22(土)	主な活動予定場所	石川県七尾市、県立七尾高校ほか
プログラム実施の目的	1. 普段、大学生との交流が少ない地域の高校生に、斜め上のロールモデルとの交流を届けることで、将来の指針を提供する 2. 探究活動を通して、基本的な知識や問題解決スキルを身につける機会を高校生、大学生それぞれに提供し、防災や地域活性化にかかわる人材育成の手法を体系化していく。結果、能登半島地震からの復興を推進する。 3. 東大生が地域課題が顕在化した現場に赴く中で、問題意識を先鋭化させ、普段の学習・研究にポジティブな影響を与えること		
具体的な内容(800字程度)	<p><はじめに:UTVCについて> UTVC東京大学復興ボランティア会議は、東日本大震災をきっかけに活動をはじめた学生団体で、10年以上、のべ1,000人以上の東大生を被災地に派遣してきました。 現在は、福島県相馬市寺子屋事業への東大生の派遣、被災地スタディツアーの企画・運営に従事しています。</p> <p><HOKUTOプロジェクトについて> 令和6年能登半島地震を契機に発足した、能登の復興支援に取り組む有志のプロジェクトです。石川県立七尾高校様と協力し、地域の高校生が「学びの主人公」として主体的に成長できるよう活動しています。 「HOKUTO」という名前には、「等身大のロールモデルとして、地域の中高校生にとって“北極星”のように進むべき道を示す存在(北斗七星)でありたい」という想いと、七尾高校様の同窓会である「七星会」の名を重ねています。 2025年度は、地域交通をテーマに、まちづくりに関わる政策立案に取り組みました。</p> <p><活動概要> 高校生とともに能登の復興を推進する事業や政策を考える過程で、 ・現場の抱える「どうしようもない現実」に対峙する ・高校生の学びのサポートをする</p> <p><活動内容> @東京 ・8月上旬:問題解決や復興に関するインプット @現地 ・Day1 8/16:高校生とのチームビルディング+能登や七尾についてインプット ・Day2 8/17:現地フィールドワーク・ボランティア活動① ・Day3 8/18:現地フィールドワーク・ボランティア活動②+政策・事業づくり① ・Day4 8/19:政策・事業づくり②+資料フィードバック ・Day5 8/20:政策・事業づくり③ ・Day6 8/21:政策・事業提案会+懇親会 ・Day7 8/22:能登を散策し、解散</p>		
【総額】参加するための費用	50,000円 このうち、体験活動プログラムからの奨励金の支給があるほか、探究活動を支援する財団への助成申請を行い、その支援金を学生に支給する予定です。詳細は参加者決定後に説明いたします。		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	20,000円(1泊4,000円)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	30,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	特になし		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://www.canva.com/design/DAGbJVIXbZ4/eAbDkSRxnEYLTiWR99QpHQ/edit		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		